上高井教育会報

第230号

発行所　上高井教育会
発行人　上高井教育会理事長　天野義孝
編集人　会報編集委員長　宮坂ゆかり
印刷所　須坂新聞社

「共に、学び続ける」

上高井教育会理事長　天野義孝

平成から令和となった本年度、一般社団法人上高井教育会理事長を務めさせていただきます、小山小学校の天野義孝です。もとより微力ではありますが、職務の重要性と責任を深く認識し、教育会発展のために尽くして参りたいと思っています。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

本教育会は、明治一八年(一八八五)上高井郡私立教育会として創立以来一三四年目を迎えます。多くの先輩の先生方が大切にされ築いてこられた「皆で共に創る教育会」、そして「不易流行」の精神を基にして、「子どもと共に自らの力を伸ばす」職能向上の思いと、「仲間と共に学ぶ」協働の思いを引継ぎ、さらに発展させていきたいと思っています。

一方、新学習指導要領の完全実施に向けた取組や『学びの改革』、教職員の『働き方改革』など、子どもたちや私たち教職員を取り巻く環境はどんどんと変化しており、従来のやり方・方法だけでは、この変化の大きさに対応できない状況があります。本教育会の事業についても、時代や状況とともに変えていかなくてはならないことは、状況に応じて柔軟に変えていくことも大切にしていきたいと考えています。

その事業の中で大切にしている職能向上の大きな柱、郡の研究委員会では、本年度新たに信州大学の畔上一康先生を中心講師としてお迎えし、「子どもと共に創る授業　～子どもの学び・教師の学び～」をテーマに、公開授業を通して職能の向上を図っていきたいと考えています。総集会において、畔上先生から、「子ども主体の、子どもたちの内面を耕し紡いでいく授業、子どもたちの考えや思いを編んでいく授業とは、子どもたちと教師の関係を編み直していく授業であり、子どもたちと出会い直す授業です。」と教えていただきました。「子どもと共に創る授業」は、正に教師の有り様が問われ、目の前の子どもたちの探究的な学びに直結している授業づくりです。どの教室でも、子どもたちが生き生きと学習活動に取り組み、力を伸ばしていく姿を共に創っていきましょう。

また、同好の仲間が集い、教師としての専門性を高め、教員としての、また日々の生活を豊かにする同好会も、仲間とつながり合い、共に学び合う貴重な研修の場です。夏休みには、夏期講座として講習・講演・巡検等が集中して企画されます。

さらに、夏の講演会では、国立天文台副台長の渡部潤一先生をお招きし、『地球外生命発見への期待　～続々見つかる「第二の地球」候補～』と題してご講演をいただきます。はやぶさ2のミッションやブラックホールの可視化といった最近の話題もあり、宇宙の神秘や面白さについて貴重なお話をお聞きすることができると思います。ご期待下さい。

上高井教育会では、仲間と共に情報交換をしながら互いの良さに学び合い、研修・研究にいきいきと取り組むことは、子どもたちの学び合いと成長につながっていくものと考え、各事業を進めていきます。子どもと共に私たち教職員が育つ、共に育っていく喜びを実感できる、そんな教育会を皆様方と共に創っていきたいと思います。「学び続ける」教職員として、共に歩んでいきましょう。ご協力をよろしくお願いします。(小山小)

教育会だより

4・1　各校にて代議員及び信教代議員選挙
2　第一回総会
○新役員の承認
第一回理事会
12　教育会会計監査
第二回理事会
研究委員長会①
16　第二回定時社員総会
○平成30年度決算承認
○令和元年度更生予算承認
24　教育会総集会(小布施中)
○講演　畔上一康先生
「子どもと共に創る授業」
研究総委員会・研究委員会・同好会世長会　同好会発足
5・9　教研学校代表者会
24　研究推進委員会②
28　新任者教育懇談会
6・12　上高井賛助会総会
13　第三回理事会
14　同好会②
25　研究推進委員会③
同好会③
7・5　12　上高井教育会報第230号発行
16　研究委員長会②
26　中心講師ご指導
教育会夏期講演会(メセナホール)
29　同好会④
29～31　同好会夏期講座

小布施音頭「復活」

宮原　徹

「小布施音頭を世界に広めよう」の合言葉のもと、今年度四年生で小布施音頭を先日の運動会で四十年ぶりに復活させました。きっかけは昨年度あるクラスが三年生の地域学習で出会った日本舞踊の先生である小林美佳先生から小布施音頭の歌詞とその誕生の背景や、衰退の事実を学んだことでした。

クラス替えをした四月当初、学年集会で小布施音頭をどうしたいか話し合いの場を設け、運動会で発表することに決まりました。

短い期間でしたが子どもたちは小林美佳先生の小布施音頭への思いを自分たちの思いに乗せて熱心に取り組みました。踊りを通じて直接動きを指導してくださった小林美佳先生や、踊りをもりあげる音打ち棒用に岩松院の竹を準備してくださった方、ゆかたの着付けを手伝ってくださった方々など多くの地域の方とも関わることができました。

本番を踊り切った子どもたちはとても満足した表情で、小布施音頭を晴れ渡る令和の小布施の空に響かせるという、忘れられない経験ができました。

今回小布施音頭を復活させようと地域の方々と共に作り上げていく運動会を通じて、子どもたちが地域への思いを深めていく姿を見て、私自身大きな学びとなりました。(栗ガ丘小)

清涼談義

写真　森上小「はばたく」

楽しい学校

小林　道子

「先生っていつも楽しそうだね。」今まで同僚や生徒、保護者から幾度となくこの言葉をかけてもらいました。一人で普通に廊下を歩いていただけなのに「先生、元気ないの?」なんて声をかけられることもありました。

この春に異動となり、初めての学校、初めての小学部、初めての子どもたち…分からないことだらけで、何をどうすればいいのやら。知らずのうちに肩に力が入っていたのだと思います。

ある日の給食、手で食べようとしている児童にお箸を使うように言おうと思い、名前を呼びました。すると大きく口を開け、目を見開き、全力の「やっちまったー」という顔を向けてきました。その顔を見て、思わず笑ってしまいました。肩の力が抜けた気がしました。

いろいろなことはありますが、漫才みたいなやり取りをしたり、追いかけっこをしたり、お輪車でカーレースをしたりと、毎日が楽しいです。

やつを食べている時間だけは静かだったり、毎日が楽しいです。

一番は、子どもたちが楽しいと思える学校であることです。それにプラスして、私も子どもたちや同僚の先生方と一緒に、学校を楽しんでいきたいと思います。

(須坂支援学校)

編集後記

今年度も、会員の皆様に親しみを持っていただけるような会誌・会報の制作を目指していきたいと考えております。これからもよろしくお願いします。

委員長　宮坂ゆかり(井上小)
副委員長　前田博展(須坂小)
事務局長　竹内文宏(須坂支援)
委員　越野智夫(井上小)
山崎香澄(栗ガ丘小)
小島夕貴(常盤中)
根岸珠美(相森中)
高木　学(高山小)

令和元年度　県外視察者名簿　(敬称略)

	学校名	氏名	視察目的・テーマ・内容等	視察方面	実施時期
1	墨坂中	神林　久子	日中友好長野県教育者訪中団として、中国の各種学校訪問を通して教育事情を視察する。また、命を失った同胞が眠る日本人公墓、革命烈士陵園への慰霊で平和への誓いを実感する。	中国	10月25日～11月2日
2	豊丘小	今井智文	体育の授業における対話的な学びについて、その具体的な授業モデルや技能習得に有効な手立てを先進的な実践から学びたい。	筑波大学附属小学校	6月14日
3	相森中	滝澤宏之	新学習指導要領に対応した英語学習のあり方を研修する。	筑波大附属駒場中	未定
4	東中	友田直樹	信州型ユニバーサルデザイン(UD)のUDリーダーとして、インクルーシブ教育についての研修を受ける。	国立特別支援教育総合研究所	6月下旬
5	墨坂中	佐野坂芳美	生徒が主体的に取り組む活動になるために四技能をどういかし授業を進めていくか学び、自分自身の授業改善に活かしたいため。	筑波大附属駒場中	未定
6	須坂支援	林　麻由	それぞれの学校の自立活動のあり方、実態に合わせた視覚支援の方法、学部同士のつながりや関わりについて研修する。	筑波大附属・久里浜特別支援・大塚特別支援	8月下旬 9月上旬 10月上旬
7	小山小	中島弘樹	自分が築いてきた授業観を見直し、多様な考え方や手法を手に入れるために研修する。	筑波大附属小	2月中旬
8	高甫小	鈴木真理子	来年度の長野県音楽研究大会の授業公開に向けて、研修に参加し、授業改善に生かしていくために研修する。	筑波大附属小研究発表会	6月15日
9	高甫小	松倉邦幸	筑波大付属小のICTを活用した国語・算数の公開授業から最新情報や授業実践を学び、小学校英語の授業実践や効果的な文字指導を学ぶため。	筑波大附属小公開授業等	6月8日
10	高甫小	長谷部直子	関東音楽教育研究会　音楽授業公開に参加し音楽教育について学ぶため。	神奈川県	11月15日
11	高山中	中澤　竣	学級担任、宿題、テストを廃止した公立学校の校長先生が挑まれている改革を視察し、新たな取り組みの、県外の様子を知りたいため。	千代田区立麹町中学校	第2回視察会に応募します
12	高山小	増田啓佑	主体的に最後まで学び続ける児童、友だちや周囲の人やものと積極的に関わりながら学びを深めていくための手立てなどを研究する。	筑波大学附属小学校	6月15日
13	常盤中	山嵜　史	新学習指導要領に対応した英語指導のあり方を研修する。	筑波大附属駒場中	未定
14	東中	戸谷由美	新学習指導要領に対応した英語指導のあり方を研修する。		9/18・10/15